

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ライフスタイルと脳の働き ―超高齢社会を生き抜くための心理学―
研究代表者	積山 薫（熊本大学・文学部・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>加齢に伴って生じる諸問題にどのように対処するかは、超高齢社会に突入している我が国にとって解決すべき喫緊の課題といえる。本研究はこの難問に取り組むものであり、その成果には世界的な波及効果が期待できる。応募者らはこれまでに、認知機能の衰えに関する脳メカニズムの基礎科学的研究において成果を上げており、また同時に、高齢者の認知機能の維持や改善についての応用科学的研究においても着実な成果を上げている。本研究は、それらの実績を基に今後の更なる成果が期待できることから、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>